



2018年度（2019年3月期） 決算説明会

－2019年5月14日－
代表取締役社長 伊部 充弘

I. 2018年度の業績（連結）

- I -1) 決算の概要
- I -2) 売上高
- I -3) 主要製品売上高
- I -4) 海外売上高

II. 2019年度の取り組みと連結業績予想

- II -1) 医療用医薬品事業
- II -2) コンシューマーヘルスケア事業
- II -3) 海外事業
- II -4) 研究開発
- II -5) 連結業績予想

I. 2018年度の業績（連結）

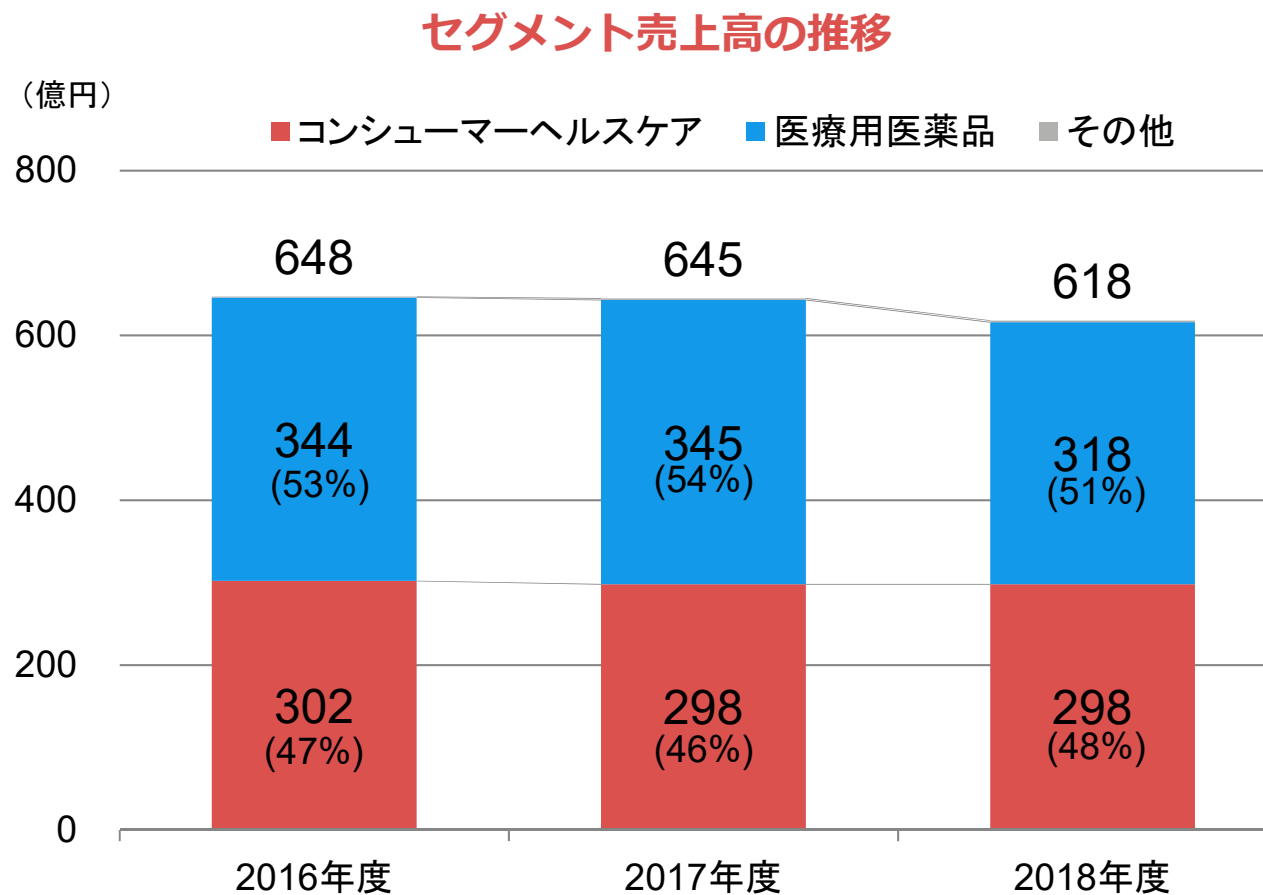
- I -1) 決算の概要
- I -2) 売上高
- I -3) 主要製品売上高
- I -4) 海外売上高

I -1) 決算の概要

- ◆ 売上高は前年比4.2%の減収
 親会社株主に帰属する当期純利益は前年比16.9%減益

(百万円)	2017年度		2018年度		
	実績	売上比	実績	売上比	対前年伸率
売上高	64,568	100.0%	61,831	100.0%	△4.2%
売上総利益	46,235	71.6%	44,071	71.3%	△4.7%
販売管理費	41,405	64.1%	40,334	65.2%	△2.6%
研究開発費	7,331	11.4%	6,832	11.0%	△6.8%
広告宣伝費	3,366	5.2%	3,526	5.7%	4.8%
営業利益	4,830	7.5%	3,737	6.0%	△22.6%
経常利益	5,089	7.9%	3,295	5.3%	△35.2%
親会社株主に帰属 する当期純利益	4,157	6.4%	3,454	5.6%	△16.9%
一株当り配当	34円		34円(予定)		

◆ 医療用医薬品事業は前年比減収、コンシューマーヘルスケア事業は前年並み



I -3) 主要製品売上高：医療用医薬品事業

- ◆ エントコートが引き続き伸長
- ◆ アコファイドは在庫調整の結果減少
- ◆ アサコール、長期収載品は減少

		2017年度	2018年度	
(百万円)		実績	実績	対前年伸率
医療用医薬品事業		34,583	31,830	△8.0%
アサコール		16,980	15,001	△11.7%
エントコート		4,469	5,279	18.1%
アコファイド		3,309	2,993	△9.6%
プロマック		2,053	1,602	△21.9%
アシノン		1,803	1,359	△24.6%
その他		5,966	5,594	△6.2%

I -3) 主要製品売上高：コンシューマーヘルスケア事業

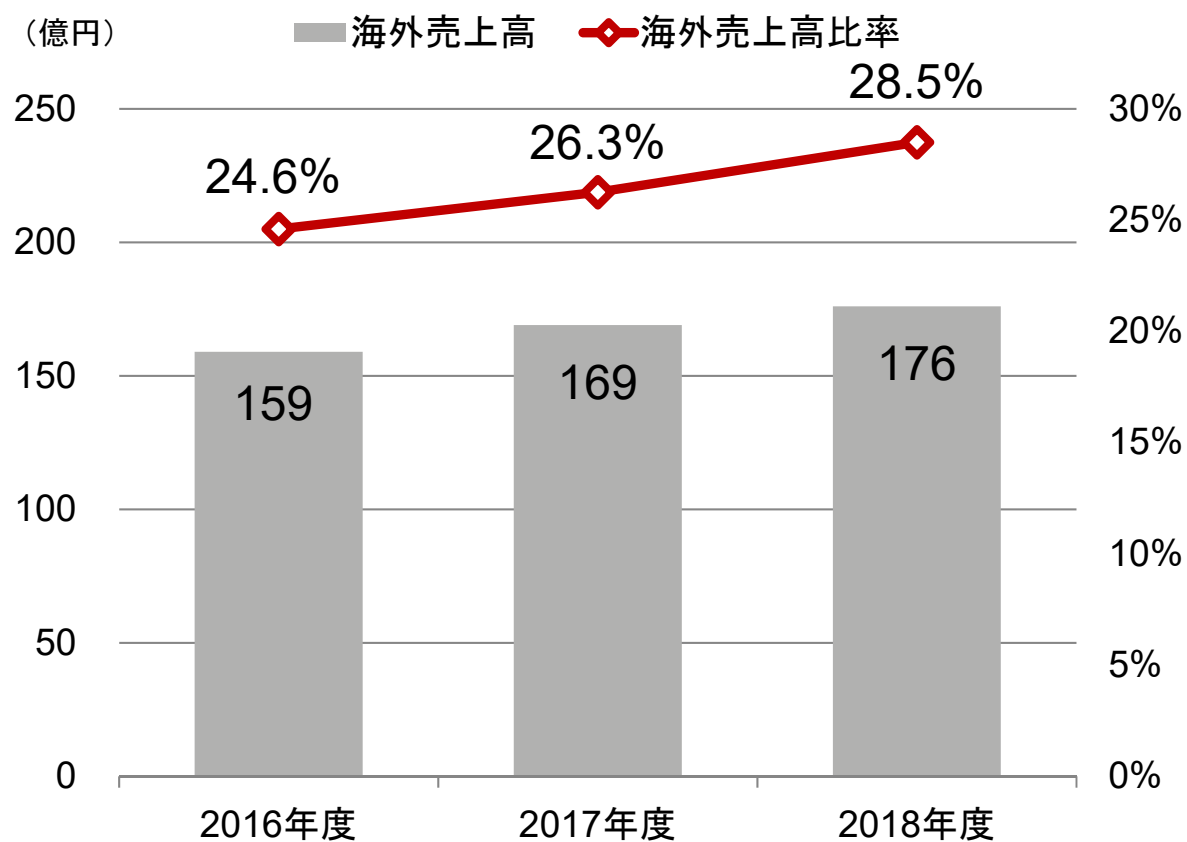
- ◆ ヘパリーゼ群が伸長
- ◆ ウィズワン群が堅調に推移
- ◆ コンドロイチン群は減少

		2017年度	2018年度	
(百万円)		実績	実績	対前年伸率
コンシューマーヘルスケア事業		29,831	29,841	0.03%
ヘパリーゼ群		12,843	13,184	2.7%
医薬品		6,008	6,042	0.6%
清涼飲料水 栄養補助食品		6,835	7,142	4.5%
コンドロイチン群		6,599	6,440	△2.4%
ウィズワン群		1,641	1,649	0.4%
その他		8,746	8,566	△2.1%

I -4) 海外売上高

◆ 海外売上高は引き続き伸長し、海外売上高比率は28.5%に上昇、30%目前に

海外売上高・海外売上高比率の推移

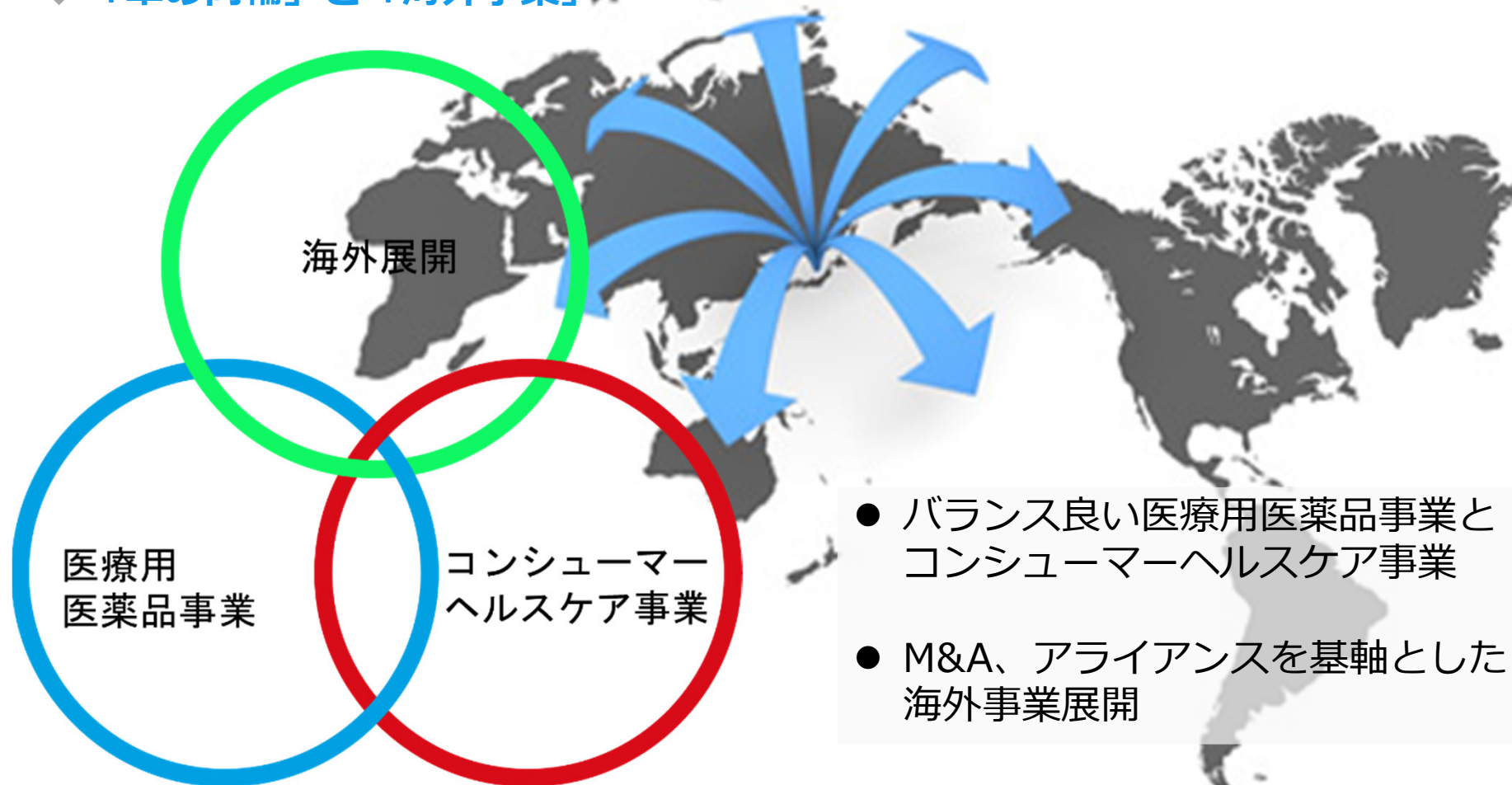


II. 2019年度の取り組みと連結業績予想

- Ⅱ-1) 医療用医薬品事業
- Ⅱ-2) コンシューマーヘルスケア事業
- Ⅱ-3) 海外事業
- Ⅱ-4) 研究開発
- Ⅱ-5) 連結業績予想

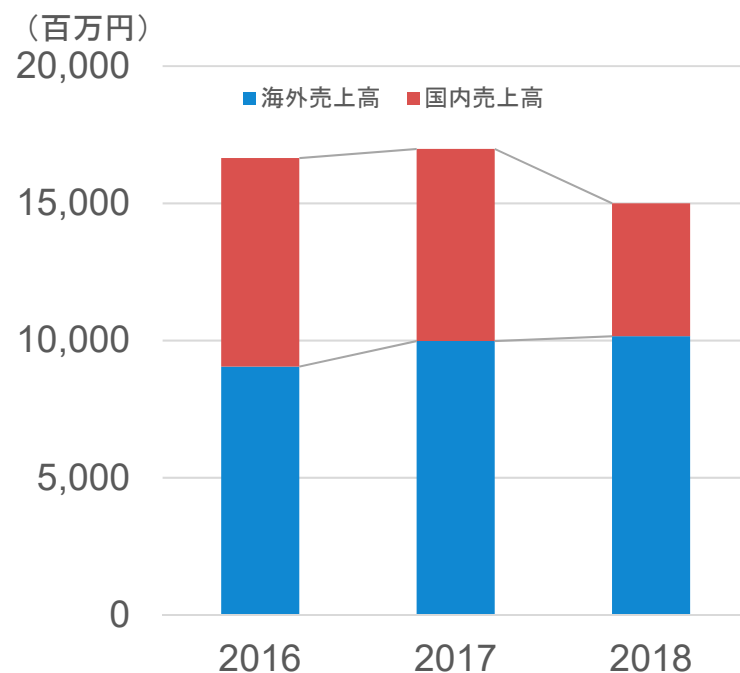
Ⅱ 2019年度の取り組み

◆ 「車の両輪」と「海外事業」



Ⅱ-1) 医療用医薬品事業：アサコール

アサコール売上推移（連結）



● 国内市場

- 2018年4月薬価改定
- 競合新薬の処方増の影響が大きい
- 後発品の販売数量は大きく伸びず

● 海外市場

- イギリス、フランスを中心に売上が伸長

● 2019年度

- アサコール1600mg錠 販売地域拡大

Ⅱ-1) 医療用医薬品事業：アサコール（海外市場）

◆ Asacol 1600mg Tablet

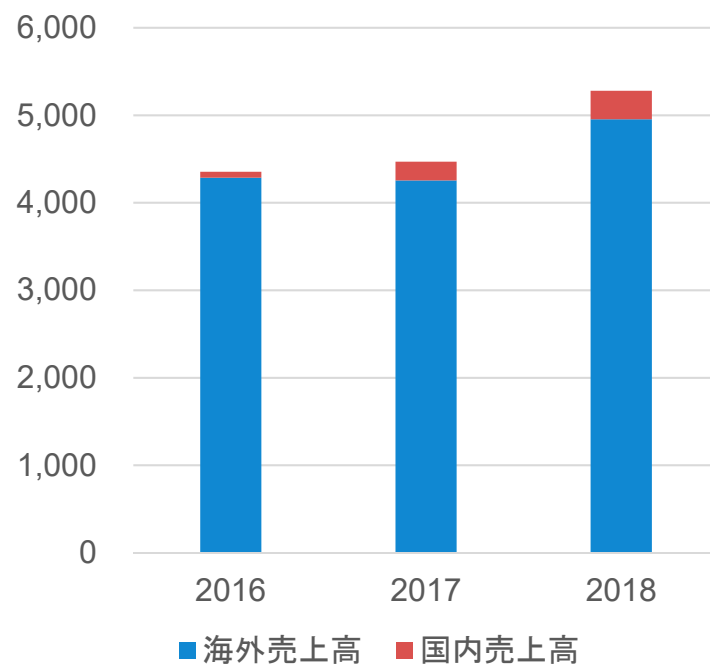


- ✓ 初のメサラジン1600mg製剤
- ✓ OptiCore™技術
- ✓ 2018年12月までに欧州15カ国で承認を取得、うち4カ国で発売開始
- ✓ 承認を取得した他の国も順次発売

Ⅱ-1) 医療用医薬品事業：エントコート

◆ エントコート 対前年 18%伸長

(百万円) エントコート 連結売上高推移



● 2018年度

- 日本、カナダ、北欧、ドイツが好調に推移
- PTP包装製品出荷開始（日本）



● 2019年度

- 引き続き国内外でクローン病治療の第一選択薬であることを訴求

Ⅱ-2) コンシューマーヘルスケア事業：ヘパリーゼ群



医薬品
「ヘパリーゼ」シリーズ

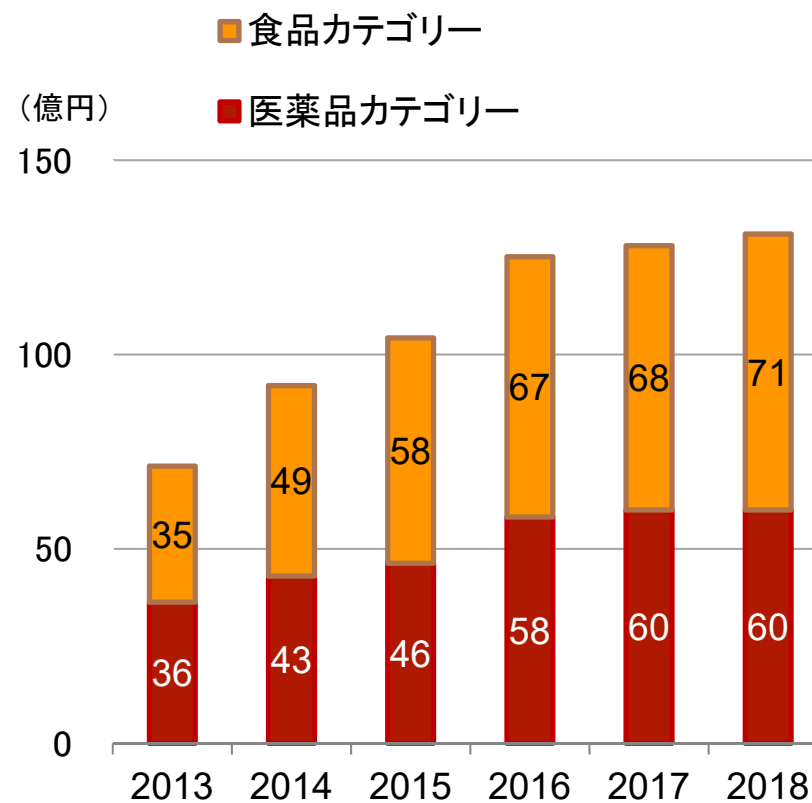


清涼飲料水・栄養補助食品
「ヘパリーゼW」シリーズ



清涼飲料水・栄養補助食品
「ヘパリーゼスーパー」シリーズ

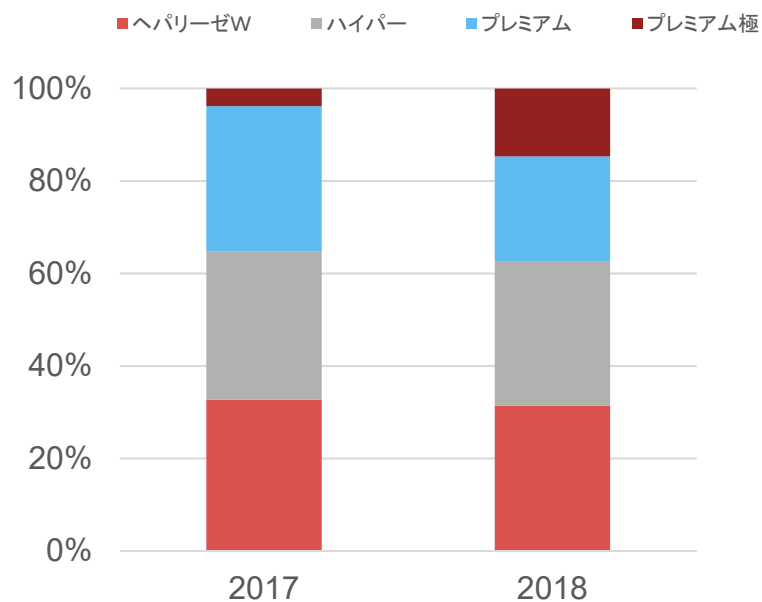
Ⅱ-2) コンシューマーヘルスケア事業：ヘパリーゼ群



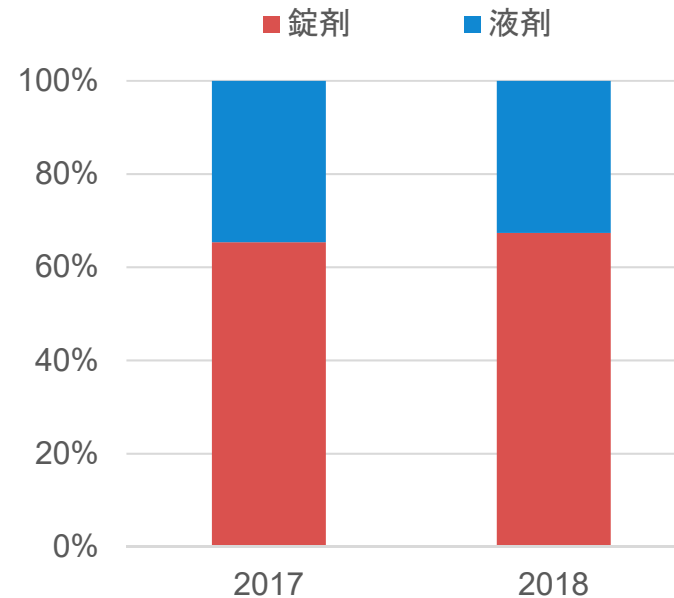
Ⅱ-2) コンシューマーヘルスケア事業：ヘパリーゼ群

ヘパリーゼ群 カテゴリー別売上構成比

コンビニエンスストア市場向け
(清涼飲料水)



ドラッグストア・薬局市場向け
(医薬品)



医薬品カテゴリー

「疲れ」に対する効果を訴求

食品カテゴリー（コンビニエンスストア・スーパーマーケット）

① 新製品の市場投入

2016	ヘパリーゼWプレミアム
2018	ヘパリーゼWプレミアム極
2019	ヘパリーゼスーパーリッチ (スーパーマーケット市場向け高価格製品) ヘパリーゼW Jelly

② 若年層への訴求 20歳代の購入層掘り起こし

Ⅱ-2) コンシューマーヘルスケア事業：ヘパリーゼ群

ヘパリーゼシリーズ（清涼飲料水） 新製品を3月発売



ヘパリーゼW
プレミアム極



ヘパリーゼ
スーパーリッチ



ヘパリーゼW Jelly

Ⅱ-2) コンシューマーヘルスケア事業：へパリーゼ群

新CM へパリーゼW Jelly

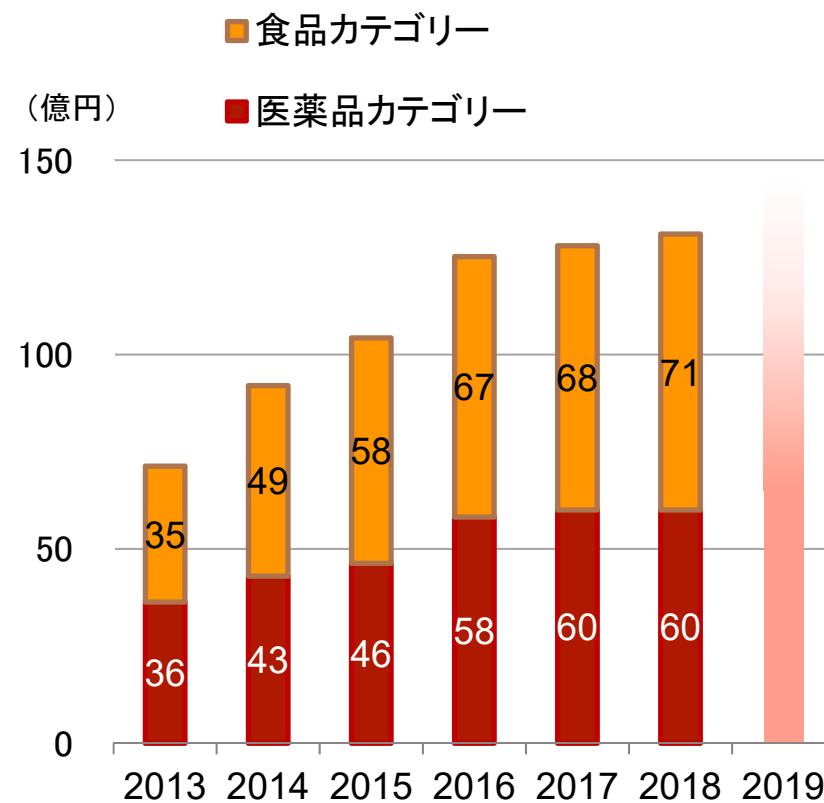


TV-CMに加え、YouTubeで
若年層向けにWeb-CMを配信

へパリーゼW 「大人になれない、大人たちへ」 篇



Ⅱ-2) コンシューマーヘルスケア事業：ヘパリーゼ群



Ⅱ-2) コンシューマーヘルスケア事業：コンドロイチン群

「日本のOTC医薬品の中で唯一 コンドロイチン1560mg配合」



Ⅱ-2) コンシューマーヘルスケア事業：ウィズワン群



植物性便秘薬 ウィズワンシリーズ

ウィズワン坐剤

Ⅱ-2) コンシューマーヘルスケア事業：ウィズワン群

2018年度便秘薬市場 売上第2位

	2018年度売上高 (百万円)
A社	4,493
ゼリア新薬工業	3,492
B社	3,417
C社	3,102
D社	1,622

国内便秘薬売上高：
インテージ SDI 便秘薬市場2018年度データより引用

TV-CM展開



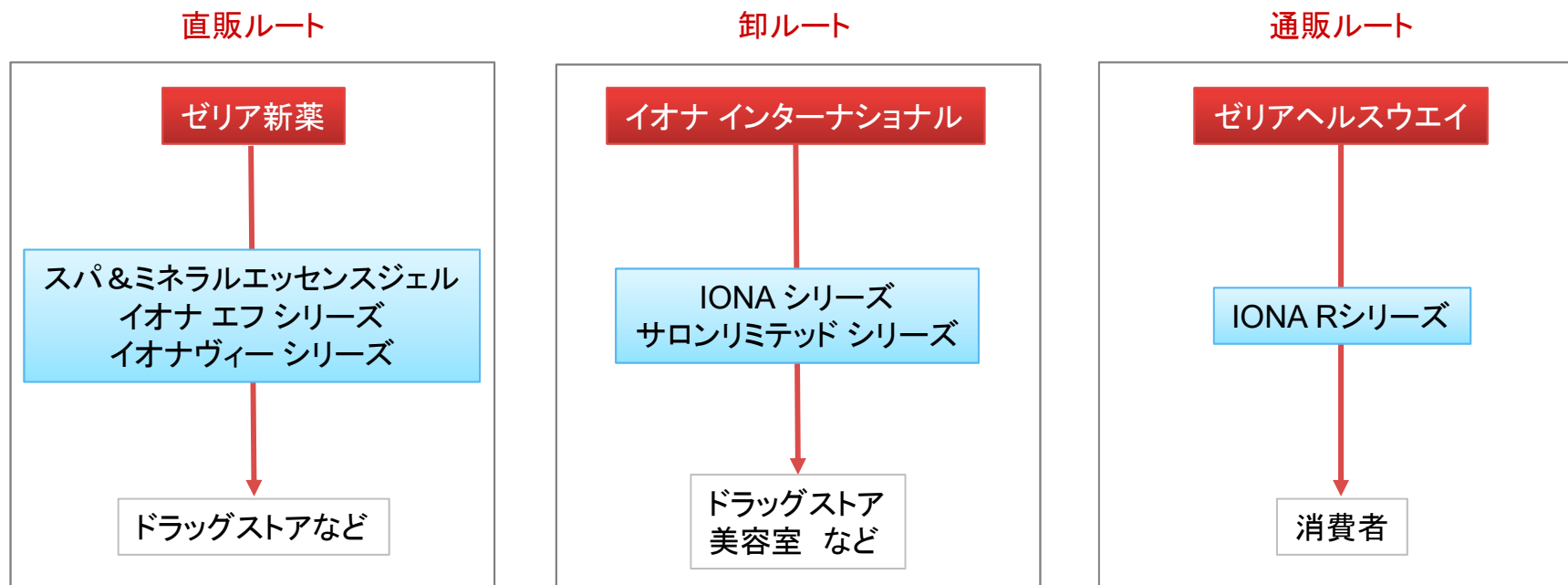
20～40歳代向けのプロモーション

2019年度

高齢者層への訴求

Ⅱ-2) コンシューマーヘルスケア事業：ビューティーケア

◆ 多彩な流通チャネルで製品展開



スパ&ミネラル
エッセンスジェル



イオナエフ



イオナヴィー



IONA



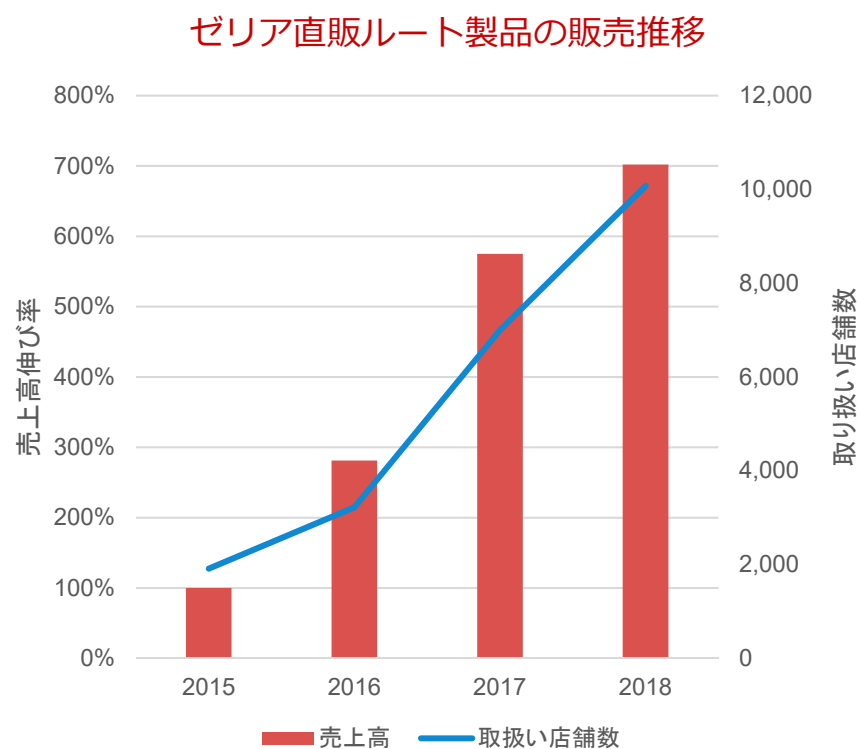
サロンリミテッド



IONA R

Ⅱ-2) コンシューマーヘルスケア事業：ビューティーケア

◆ 取り扱い店舗数、売上共に順調に伸長



ゼリア直販ルート
イオナ製品群

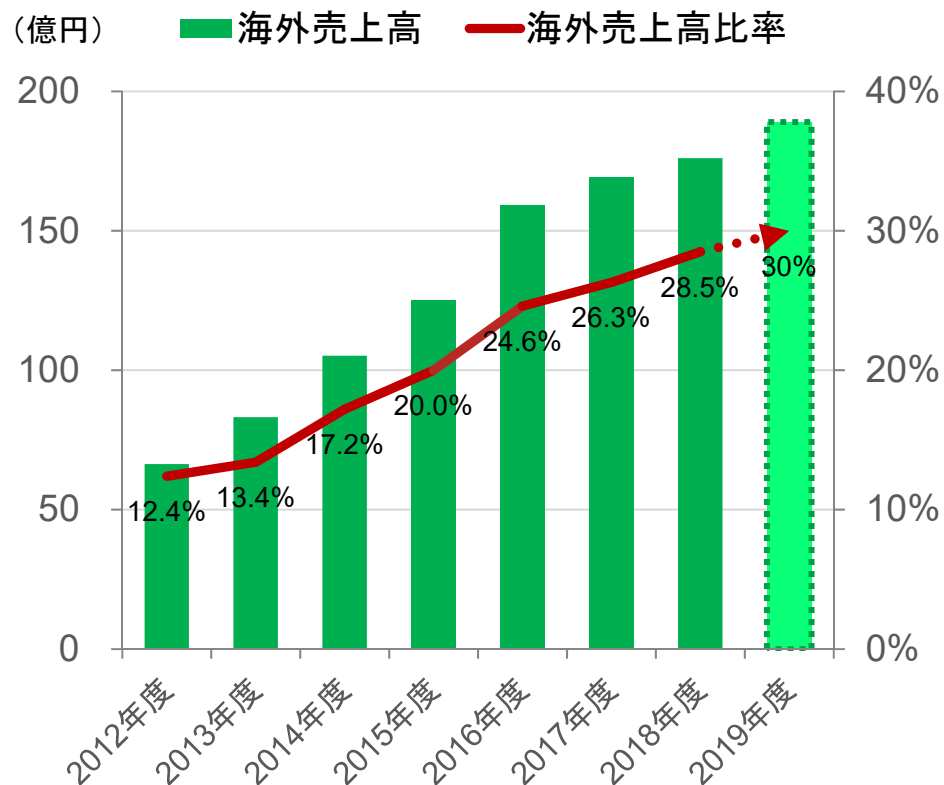
Ⅱ-2) コンシューマーヘルスケア事業：ビューティーケア

◆ イオナ エフシリーズ パッケージデザインを刷新



Ⅱ-3) 海外事業

海外売上高推移



- Tillotts Pharma

- 「Asacol」 800mg錠、1600mg錠
- 「Entocort」

- ZPD

- ゼリア向けコンドロイチンバルクの安定供給
- ゼリアグループ外への拡販

- F.T. Pharma

- ベトナム既存事業の販路拡大
- ゼリアグループ製品の市場拡大

Ⅱ-4) 研究開発：パイプラインの状況

開発番号／名称	適応症	Phase1	Phase2	Phase3	申請	承認取得	販売
Asacol 1600mg Tablet T P 0 5	潰瘍性大腸炎	欧州 (Tillotts)					
フェインジェクト Z - 2 1 3	鉄欠乏性貧血	日本 (ゼリア)					
Z - 2 0 6	潰瘍性大腸炎	中国 (Tillotts/ゼリア共同)					
Z - 1 0 0	子宮頸癌	アジア共同治験 (ゼリア)					
Z - 3 3 8	機能性ディスペプシア	欧州 (ゼリア)					
Z G - 8 0 1	高カリウム血症	日本 (ゼリア)					

Ⅱ-4) 研究開発：鉄欠乏性貧血治療剤 フェインジェクト／Z-213

フェインジェクト® 静注 500mg

2019年3月 鉄欠乏性貧血を適応症とした製造販売承認取得



- スイス Vifor Pharmaより導入し、2014年より日本国内で開発開始
- 世界82カ国で承認
- 週1回の静脈内投与あるいは点滴静注

Ⅱ-4) 研究開発：鉄欠乏性貧血治療剤 フェインジェクト／Z-213



フェインジェクト® 静注 500mg

治療に要する投与回数を低減し、投与期間（日数）を短縮

	総投与量				投与方法
	1000mg		1500mg		
	平均投与回数	平均投与期間	平均投与回数	平均投与期間	
フェインジェクト群	2.0回	9.3日	3.0回	18.0日	1回500mg 週1回投与
含糖酸化鉄群	9.3回	37.2日	13.2回	40.2日	1回80-120mg 週2-3回投与

承認時評価資料より引用：

国内第Ⅲ相試験

対象：過多月経を伴う鉄欠乏性貧血患者

※投与割合が80%を越えた症例のデータ

症例数(100mg/1500mg)

フェインジェクト群 36例/83例、含糖酸化鉄群 34例/85例

Ⅱ-4) 研究開発：高カリウム血症治療剤 ZG-801



ZG-801（海外製品名：Veltassa®）

- スイス Vifor Pharmaより導入
- 2015年米国、2018年欧州で発売
- Patiromer（イオン交換ポリマー）を成分とする高カリウム血症治療剤
- 腸内でカリウムイオンを吸着し、便とともに体外へ排泄

2019年1月 臨床第2相試験を開始

第10次中期経営計画以降の持続的成長に向けた積極的な取り組み

《投資》

ZGI において複数案件を検討中

- ・ 消化器領域および既存事業との親和性の高い領域の薬剤導入

M&Aを含めた成長戦略

- ・ 現有事業と相乗効果を発揮する領域
- ・ 経営資源など効率的な展開が可能な領域

《その他》

- ・ 自社製品の海外導出の推進

Ⅱ-5) 連結業績予想：概要

	2018年度	2019年度	
	実績	予想	対前年伸率
(百万円)			
売上高	61,831	65,000	5.1%
営業利益	3,737	5,000	33.8%
経常利益	3,295	5,000	51.7%
親会社株主に帰属 する当期純利益	3,454	3,800	10.0%
一株当り配当	34円(予定)	34円(予定)	
研究開発費	6,832	7,100	3.9%
広告宣伝費	3,526	4,200	19.1%
海外売上高	17,624	19,180	8.8%

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化などにより、計画数値と異なる可能性があることにご留意ください。又、本資料は情報の提供のみを目的としており、取引の勧誘を目的としておりません。

お問い合わせ先：広報部 西澤まで

Tel. 03-3661-1039

Fax. 03-3663-4203